

初心者アーチェリー教室

渡辺 一志、五百藏正雄、荻田 亮、岡崎 和伸、横山 久代
今井 大喜、鈴木 雄太、岡 育生、辻岡 哲夫、森島 佑
ThiThiZin、野村 恭代、高井 秀明

開催日：平成 28 年 7 月 9 日（土）～ 10 月 8 日（土）（10 回 開催）

会 場：大阪市立大学 アーチェリーレンジ
大阪市立大学 都市健康・スポーツ研究センター 実験実習室

参加者：14 名（視覚障がい者：6 名、健常者：8 名）
教員 13 名、補助学生 6 名

概 要：地域住民が視覚障がい者ととともにスポーツ教室でアーチェリーを学ぶ企画です。視覚障がい者のためのアーチェリー照準補助システム・得点通知システムを開発するとともに、一般参加者の障がい者に対する接し方の変化、スポーツによる視覚障がい者の健康・体力・心理的側面における変化等を検討する調査の一環として、健康・スポーツ科学のみならず工学、社会福祉学の専門家が協力して開催しました。初めてアーチェリーを体験する人が集まり、健常者と視覚障がい者がアーチェリー教室でともに学ぶことによって、コミュニティにおける障がい者および接する人の意識・体力の変容を検討するものです。
今年度は、アーチェリーの基本的な知識を学びシューティングの基礎技術習得を中心に教室を実施しました。

- ① 社会福祉における参加者の意識変容
教室参加者の、本教室に参加することによる「障がい」および「障がい者」への意識変容について、参加前と参加後に社会福祉的意識のアンケート調査を実施しました。
- ② 健康・スポーツにおける参加者の変容
健康度、形態等、筋力、運動機能について参加者の健康・体力測定を実施しました。また、参加者の心理的変容についてアンケート調査を行い検討しました。

パフォーマンスの評価（教室の後半）

- シューティングの内容

射距離：10メートル

的：直径80センチメートル

本数：12本（120点満点）

- 結果

最高得点

健常者8名：平均92.1点（68～110点）

視覚障がい者6名：平均73.7点（44～82点）

現在、今年度の体力測定およびアンケート結果の集計、分析および視覚障がい者のアーチェリー照準補助システムとインパクトの音および画像による得点通知システムの開発に取り組んでおります。



シューティング風景



準備運動



スタンス補助版の試用



脚筋力の測定



重心動揺測定



柔軟性測定



補助者による視覚障がい者への方向助言